

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ダイアキッズ (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 15日 ~ 2025年 11月 10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日 ~ 2025年 11月 10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 12名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・天気の良い日は外出し、散歩や公園で体を動かして遊び、体力作りをしていること。	・外出時移動する時には、できるだけ1対1の配置を心掛け、交通ルール等も知らせています。 ・他の保育園に訪問し、園庭の遊具や畑と一緒に遊び交流の機会も設けています。	・利用時には、安心・安全に過ごせる様に外出先の経路や危険箇所等の見直し、万が一の時の(災害時等)フロー図等をスタッフ間で共有し徹底していきます。
2	・支援プログラムを作成し、5領域に合ったその日の活動目標を立てていること。	・季節に合った物、昔ながらの伝承遊び、制作、レクリエーション等 飽きない様組み合わせています。その中で、個々に支援が必要な点を把握し活動プログラムに取り入れています。	・就学後の学校生活を見据え、5領域全体のバランスやつながりを意識した支援を行っています。また、苦手な事でもチャレンジしようという気持ちが持てる様に 様々な経験が出来る環境を整えていきます。
3	・長期休みや祝日には、放課後等デイサービスの利用者と一緒に過ごす事で、異年齢児との関わりができています。	・放課後等デイサービスの利用者と一緒に活動する事で、一人ひとりの強みを活かしたり、低学年の利用者と過ごす機会を多くして、就学後の活動がスムーズに移行できる様に配慮しています。	・外出や制作活動、レクリエーション等、一緒に活動する場を作っていきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・言語聴覚士、理学療法士、作業療法士の専門的なスタッフがないこと。	・人材確保や事業所の運営体制上 専門職配置が難しいというのが現状です。	・様々な研修を受講し、スタッフの資質向上を図っていきます。 ・支援センターの専門職(言語聴覚士、理学療法士、作業療法士)の方に訪問してもらい、アドバイスをいただき支援につなげていく様にします。
2	・庭が無いので、気分転換や気持ちの切り替えをする為に 外に出るという事ができないこと。	・屋外スペースがない環境に加え、安全管理や人員配置が必要となる為、気分転換のために即時的な屋外対応が難しいです。	・天気の良い日はなるべく外に出て、散歩や公園で遊んでいます。その日の利用児の状況により、スタッフの配置を考えて 安心・安全に気を配っていきます。また、室内での代替的な気分転換方法を工夫するとともに、計画的な外出活動を見直していきます。
3			